

吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845

目次



1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の大木説明
3. 100年後の森をイメージ
4. 大木調査 第11報
5. 同上
6. 大木調査朝日新聞記事紹介 ほか
7. 千里山生協に市民共同発電点灯
8. 花とみどりのフェア、ろうソク作り
9. 関大でエコクッキング
10. 散策会報告「安威川コース」
11. 「あろっく吹田」から「まち案内人」
12. 吹田市立博物館万博展とその後
13. 「かけはし」交流会、くわい学習会
14. 行事案内 ほか

コラム

春夏秋冬

会長 小田忠文

すいた市民環境会議の会員なら「吹田にホタルがいる」と聞くとヒメボタルだとわかるだろうが、まだ大部分の市民は吹田にホタルがいることを知らないのが現状だ。▲当会は98年から昨年までの10年間、吹田自然観察会、西山田ヒメボタルの会とともにヒメボタルが発光する直前の5月1日から発光が見られなくなるまでの約一ヵ月半、毎夜調査を続けてきた。この10年間で目視したヒメボタルの発光数の総計は4万8千を超えた。▲また、当会が発足した97年に吹田自然観察会とともにおこなった市内の大木調査で、幹まわりが2mを超える大木が420本あることがわかっていて、昨年10年後の調査をして、当時は存在したがその後倒れたり伐られた木もあるが、総計918本の大木を確認した。これらヒメボタルや大木のデータを現在分析しまとめる作業をしている。▲さらに当会はツバメの巣、ため池の生き物、公園の生き物、街路樹、野草などの調査をしてきた。このほかにもトンボ、カスミザクラ、池の魚、野鳥、キノコ、スイタクワイやキツネ、タヌキの目

撃情報など吹田の自然を語る時、貴重な資料が調査した各団体に分散して保管されているのが現状だ。これらの資料は行政の環境施策の基礎データとしても貴重なものである。▲また「吹田の自然環境を考え、学習するために市民が自然環境の資料を収集したり自由に接することのできる場を設けていただきたい」と昨年秋、当会と吹田自然観察会の共同の要望書を市長に提出した(本紙12頁参照)。このような場が実現することを願ってやまない。▲しかし一方では、大木調査の費用を捻出するため昨年、市の市民活動推進の助成金を受けようとプレゼンテーションに参加した時、一人の審査員の「調査をするのは趣味でしょう、マップや冊子といってもそれは趣味の人だけが見るのではないですか」と発言したことには耳を疑った。しかし「審査員ですらこう考える人がまだいるのだ」「私たちの努力はまだまだ足りない」と認識し反省した次第である。▲私達は大木調査や自然環境の調査を通して人々にごく普通にあり、時には気づかれていない自然環境の大切さを知ってもらい、ヒメボタルやスイタクワイが無くなってからあわてるのではなく、吹田にある身近な自然を未来に引き継ぎたいと願っているのである。

<表紙の大木>

吹田の大木シリーズ(7)

片山神社のクスノキ

片山神社の境内には幹周り273cmのクスノキの大木があります。神社は片山公園に隣接していますが、樹がまばらで鎮守の森というほどの樹林や大木がありませんので、神社のシンボル樹としてずっと残したい樹です。

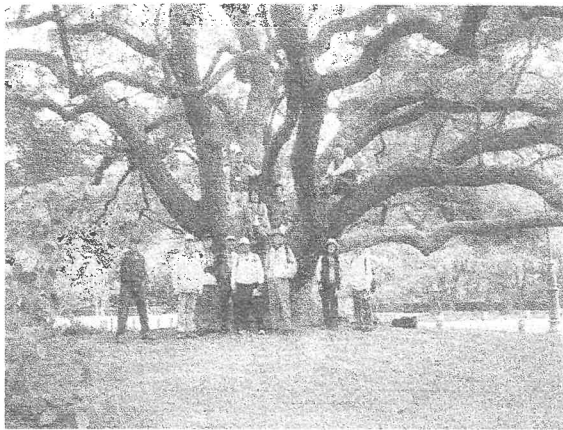
(表紙画：安芸早穂子 文：平 軍二)

操車場跡地100年後の森をイメージする

第3回 観察会「京都御苑・糺の森」

11月11日(日) 藤井勝二(山手町)

六百有余年の歴史有る京都御苑に、植樹整備されて100年余に及ぶ約5万本もの多彩な古樹巨木が、砂利敷の幅広い苑路と築地塀、芝生と松林で構成された63ヘクタールの一带に整然と配置され生育している景観は、まさにその由緒と国民庭園としての風情を感じさせるものでした。(京都御所や大宮&仙洞御所その他建屋を含む、ほぼ長方形の総敷地は91ヘクタールの由)とりわけ圧巻は、関西大学のクスノキを思い起こさせる株立ち10本余のクスノキの巨木と、松の倒木の各所から芽吹いたサクラの珍木(桜松)であった。(いずれも参加者13名全員での記念撮影を忘れず!)



京都御苑のクスノキで全員集合

一方、下賀茂神社敷地内の南側一带に位置する糺の森は、かつて原生林だった頃、現状12ヘクタール余りの40倍以上は有ったらしい「いにしへの森」の面影を残す都の中のまさに「森」であった。

賀茂川と高野川が合流する三角州に位置し、昔は洪水に何度となく見舞われ、或いは伏流水などで土砂が洗われ荒らされたとの説明も戴いたが、その明らかな履歴が残る古木の根元や、二百~数百年におよぶ樹齢の古木巨樹の何百本もの密生の中を進みつつ、眼を転ずれば直ぐ京のまちや小川も・・・珍しく貴重な「都会の森」そのものである。

このような或る種対称的な京都御苑と糺の森が、徒歩わずか10分ほどの距離に有り、共に世界遺産でもある。いずれにしる、これまで何度か訪れ

た見学観光とお参りだけの時とは大違いで、感慨深く貴重なひと時を得ることが出来た自然観察会で、樹木42種を観察した。



京都御苑の桜松

さて、山も森もナイ!吹田市内(最高標高は115.7m)、そして北部に比し緑の少ない南部に位置する吹田操車場跡地に、100年後の森!を創生するとすれば、どのような森が・・・と考えると、やはり「御苑」のような公園風が望ましい。人工の池や循環式のせせらぎを配し、人だけではなく鳥や昆虫なども憩える空間に生まれ変わっていった欲しいものである。

最後に、私の所属するボランティアグループが運営しているシニア層向けの講座『華金塾』の塾生に声をかけ、男女3名参加されたが、あれほど愉しそうに堪能されていたこと、そして皆さま方に感謝されていたことに、私としては何はともあれホッ!としました。

皆さま方に併せて厚くお礼申し上げます。有難うございました。

吹田操車場跡地に「21世紀の森を作ろう」と開催した3回シリーズの観察会、操車場跡地のまちづくり「東部拠点整備事業」の中に、100年の森を作る方法が提案できればと思っています。(平 軍二)

吹田の大木は918本

生きもの委員会 平 軍二

吹田市内の大木調査は、昨年12月末に終了し、現在結果を集約中で、本年3月までにマップ、そして6月頃までには冊子にまとめ、皆さんにお披露目できる予定です。

現時点の集約結果の概略は以下の通りです。

1. 吹田の大木調査結果

昨年2月にスタートし約一年間、延べ446人の方の協力を得て調査した結果、吹田市内に幹周り2m以上の大木は、918本あることがわかりました。

表1. 大木調査結果

調査期間	07.2.25~08.1.5
調査日数	67日
調査者	446人
調査した木	1038本
大木本数	918本

97年調査では420本でしたので、倍増したことになります。

2. どこに大木が多いか

大木の多い所ベストテンは表2の通りで、万博公園や関西大学、そして公園で数多く確認できました。

表2. 大木所在地ベストテン

	所在地	本数
1	万博公園	106
2	関大	87
3	千里北公園	66
4	千里緑地	44
5	千里南公園	40
6	弘済院	26
7	高川堤	20
8	垂水神社	19
9	中の島公園	18
10	紫金山+吉志部	16

97年調査で万博公園の大木は25本だったので、今回4倍増となっています。また、万博公園や千里北公園・千里南公園では、大木レベルに達したばかりと思われる木が多かったが、これらの公園は昭和40年代に整備されましたが、そのとき植えられた木のうち成長の早い樹種が、大木レベルに到達しつつあると推定されます。

3. 吹田で最も大きな木

97年調査では関西大学にあったヤマタノオロチを思わせる9本立ちのクスノキが、幹周り1225cmとして吹田一の大木と称しました。今回大木の定義を見直し、断面積法^(注)を採用したため、



内本町民家のクスノキ（吹田市最大の木）

表3. 大木幹周りベストテン

	町名	所在地	種名	幹周りcm	株立ち
1	内本町1	民家庭	クスノキ	467	1
2	千里山東3	関西大学	クスノキ	435	9
3	千里山東3	関西大学	クスノキ	424	1
4	千里山東3	関西大学	クスノキ	390	1
5	岸部中5	民家庭	クスノキ	380	1
6	千里山東3	関西大学	エノキ	363	4
7	内本町3	大雄院	クスノキ	361	1
8	千里山東3	関西大学	クスノキ	358	2
9	内本町2	民家庭	クスノキ	357	1
10	芳野町13	アメニティ江坂	クスノキ	354	1

この木の幹周りは435cmとなり1位の座を内本町の民家のクスノキに譲り2位となりました。

ベストテンは9本がクスノキ、1本がエノキです。

また関西大学と内本町に多いことが特徴的です。関大は植樹され100年近いこと、内本町には大木を守つてきた民家があつたことによると言えるでしょう。



唯一ベストテン入りのエノキ・関大

(注) 幹周りの定義(計算例)

- ・単純計法(97年調査)……幹周り100cm4本立ちの木は100cm x 4本=400cm、そのまま幹周り400cmと表示しています。

- ・断面積法(07年調査).....同じ幹周り 100cm
4本立ちの木の断面積合計は、1本立ち幹周り 200cm の木の断面積と同一なので、この木の幹周りは 200cm と表示しています。

4. 幹周りレベル

大木 918 本について幹周りレベル毎の本数は表 4 の通りで、76%が 250cm 以下の木でした。

一般に見られる木の年輪幅は 0.3~0.5cm、木の幹周り増加量は年輪幅の約 6 倍、年 1.8~3cm とすれば、10 年で幹周りは 18~30cm 増となります。従って、表の中で 220~

表4. 幹周りのレベル

幹周りcm	本数	%
400~	3	0.3%
300~400	57	6.2%
250~300	160	17.4%
220~250	321	35.0%
200~220	377	41.1%
計	918	100.0%

200cm 範囲にある 377 本の大部分、そして 250~220cm の一部を合わせ、今回 918 本の半数以上が、10 年前の 97 年調査では大木ラインに到達していなかったと思われます。

大木の幹周りの増加割合がどれくらいかについては、今回調査木が 97 年調査報告値と 1:1 の対応できる木のみでチェックする予定です。

5. 大木の樹種

大木 918 本を樹種別に見ると、最も多かったのはクスノキで 360 本、39%を占めています。

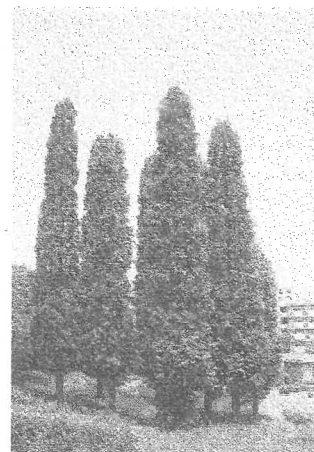
前回と比較し特筆すべきはメタセコイアで、97 年調査結果で 4 本しかなかったのに、今回 60 本と 15 倍増となっています。またポプラ・ユーカリも 3 倍増と多くなっています。これらの外来種の増加は日本の在来種より成長が早いこと、公園

表5. 樹種別本数ベストテン

種名	07年		97年		07年 / 97年
	本数	%	本数	%	
1 クスノキ	360	39%	147	35%	2.4倍
2 ポプラ	69	8%	19	5%	3.6倍
3 エノキ	65	7%	34	8%	1.9倍
4 メタセコイア	60	7%	4	1%	15.0倍
5 サクラ	54	6%	41	10%	1.3倍
6 コナラ	46	5%	17	4%	2.7倍
7 アベマキ	41	4%	40	10%	1.0倍
8 ユーカリ	23	3%	7	2%	3.3倍
9 ケヤキ	22	2%	8	2%	2.8倍
10 アラカシ	21	2%	18	4%	1.2倍
その他	157	17%	85	20%	1.8倍
計	918	100%	420	100%	2.2倍

内などで一定間隔をおいて植えられていることで自然林のように周りの木との競合が少ないなどから幹周りの増加が大きく、上述の万博公園や千里南公園などでの大木増加に一役買ったと思われます。

尚、メタセコイアについては、すでに「メタセコイア幹周りの不思議」と題し報告(53号)しましたが、佐竹台にある吹田市最大のメタセコイアの写真(中央の木・幹周り 260cm)を添付します。

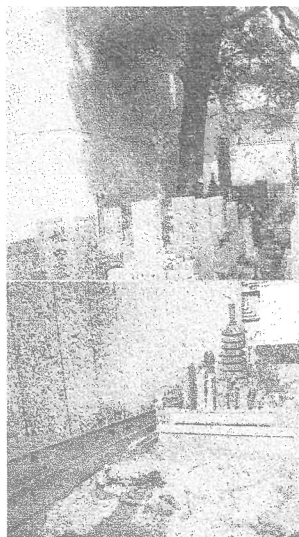


吹田市最大・佐竹台のメタセコイア
剪定でメタセコイアの風格はない

6. 消えた大木

調査報告書には、大木にまつわるいろいろな話を記録し残したいと思っており、特に 97 年報告の 420 本がどうなっているかについて、まとめる予定です。

今回の調査データとの対応を確認中ですが、97 年 1 本立ちで吹田市最大の木であった関大のクスノキ(幹周り 445cm)は、枯れて現存していないことがわかったことなど、無くなった木も少なくありません。



本真寺墓地のクスノキ
(上 07/3/13, 下 08/1/5)

更に、今回の調査期間中においてさえ、計測した大木 4 本が既に無くなっています。高野台小学校ではクスノキ 3 本が、下水管の破損原因として、切断されたことは会報 53 号で報告しています。

また、高浜町本真寺(旧護国寺)墓地では、07/3/13 に調査した幹周り 275cm クスノキが切断され、今は切り株のみが残っています。近隣への落葉問題や、

隣の建物の土台に影響することが懸念される状況にあった上、幹の中央が腐っていることもわかったので、昨年夏に切ったとお聞きしました。

以上

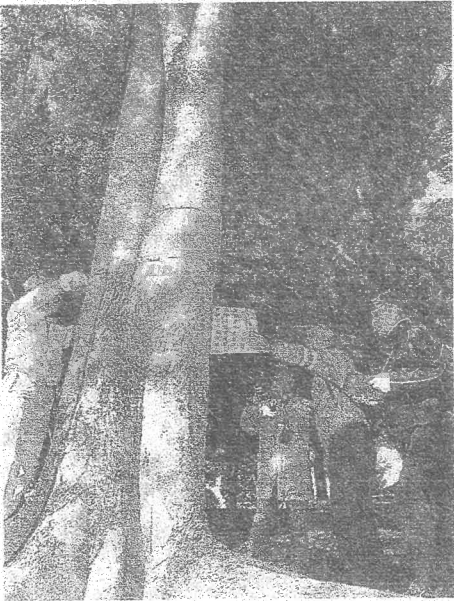
朝日新聞で大木調査が紹介されました。

ベッドタウンで緑スクスク

吹田の「大木」 10年で2倍に

ニュータウンや公園など人工の緑の多い吹田市で、幹回りの2倍を超える「大木」が、ここ10年間で2倍に増えた。自然保護に取り組んでいる同市のNPO法人「すいた市民環境会議」の10年ぶりの調査で分かった。前回以降、伐採されたり朽ちたりした木もあったが、開発の時代に整備された街中の「自然」は、順調に根を下ろしているようだ。

「2006」よし、オーケーだ
吹田、豊中市にまたがる服部
緑地都市緑化植物園。11月下旬の



ムクノキの幹回りを計測するすいた市民環境会議のメンバーら。吹田市中

が広がった。

この日は同園の吹田市区部分など市西端部で9本が確認された。10年前は同じ範囲で2本しかなかった。そのうちの1本だったクロマツは枯れて切られていたが、「新顔」が8本もあった。

前回も調査した同会議理事の平軍二さん(69)は「クロマツは残念だけど、新しく見つけた木がけっこうあった」と顔をほころばせた。

同会議は97年に発足。01年にNPO法人の認証を受け、生物調査や環境保護活動に取り組んでいる。

88年に環境庁(当時)が全国的に実施した巨樹・巨木調査をきっかけに、自分たちの街の木を独自に調べてみよう、同会議も97年に最初の大本調査を実施。国の調査では幹回り3.5以上が基準で、吹田市内は5本だけだったため、少し基準を緩くして2.5にした結果、420本を数えた。

10年間無事に育てば幹回りは15〜30センチと太くなると考えられるが開発などで切られる木も多い。10年たつてどう変化したかを調べようと、昨年から準備を始めた。

今年2月からこれまでに計64回、延べ419人で市内の9割以上の地域を調べ、約1千本を計測。大木は万博記念公園106本、関西大87本など、計886本を数えた。12月に全市の調査を完

了する時点では900本前後に達していた。

前回調査では、一つの株から複数の幹が出ている木は全部の幹の幹回りを合計していたが、この方法ではそれほど大きくなくても幹が多ければ大木になるため、今回は幹の断面積の合計を割り出し、同じ断面積の1本の幹だった場合の幹回りを算出して、2.5以上だった木だけを大木とした。このため、前回大木にしたが今回は基準以下になった木もあった。仮に前回の基準で測ったとすれば、本数はもっと増えたとみられるという。

新たに大木入りした木は、街路樹として整備されたクスノキや、成長の早いメタセコイアなどの外来種が多い。昭和40年代に整備された所が多い公園や市街地の街路樹では、樹齢が40歳前後に達し、ちょうど大木になりつつある年頃だといふ。

逆に前回の大木のうち、枯れたり、切られたりしてリストから外れたのは約1割。民家の場合、落ち葉が近所の迷惑になるからと切られてしまう例が多いようだ。

平さんは「大木を通じて、街なかの自然がどう変化してきているのかがわかる。身近な環境を考える手がかりになれば」と話す。今回は全球測位システム(GPS)を使って一本一本の正確な位置を記録しており、さらに10年後の変化を追いかけることも可能だ。

同会議では、年明けに調査結果を集約し、3月ごろをめどに冊子や地図にまとめる予定。

NPO調べ 万博公園・関大…全市で900本

吹田操車場跡地まちづくりアイデア募集コンペ

吹田市と摂津市は両市が策定する吹田操車場跡地のまちづくり計画の実現のため、立地すべき施設や機能に関するアイデア等を募集するコンペを主催することを目的としてコンペ実行委員会を設置しました。

☆スケジュール (予定)	☆対象区域
H20年2月上旬 アナウンスシンポジウム	吹田操車場まちづくり可能用地(約23ha)
H20年2月上旬～3月31日 受付期間	及び吹田市正雀処理場及び摂津市グリーンセンター用地(約4.5ha)
H20年5月中旬 審査終了	

☆詳細は吹田市都市整備部東部拠点整備室にお問い合わせ下さい。吹田市のホームページからでも見られます。
☆北摂地域に残された貴重な未来の拠点地区、市民の夢をコンペで生かそう(まちなみ委員会 松岡要三)

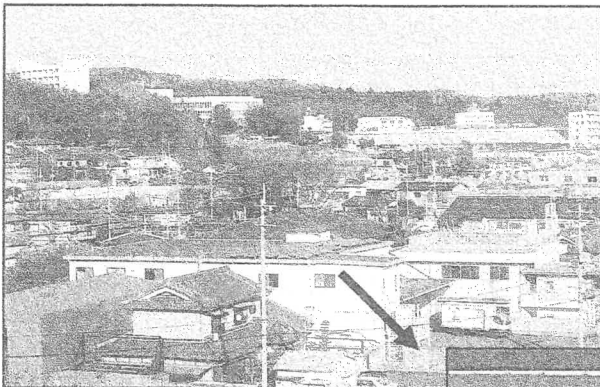
市民共同発電所!

生活環境委員会
喜田久美子

昨年夏から取り組んできた千里山生活協同組合の「市民共同発電所」が1月28日(月)点灯しました。環境会議も出資やカンパ活動、学習会などに協力しました。

2006年2月、環境会議で取り組んだ古江台中学校の市民共同発電のノウハウが、設置活動に活かされました。

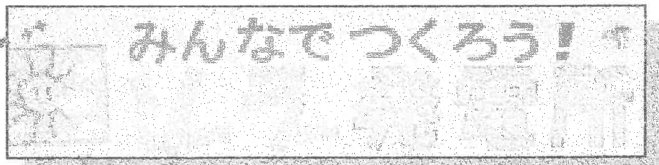
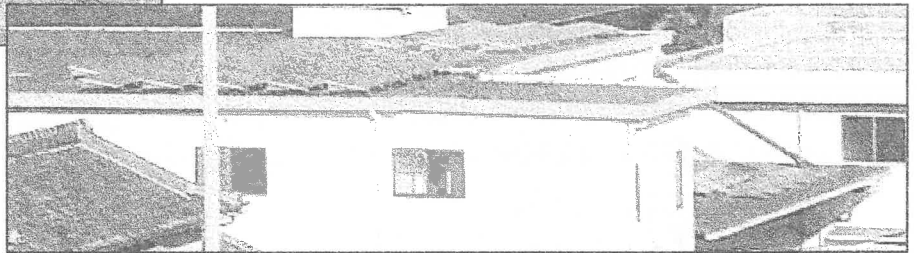
千里山生活協同組合は「リターナブルびん」「ごみゼロ大作戦」など具体的な実効性ある活動をはじめ、「家庭の環境マネジメント」など地球温暖化防止の活動に早くから取り組んできました。その活動が自然エネルギーによる発電へとステップアップしたのです。温暖化防止のために、未来への責任を感じ、思いをかたちにしたいと、さまざまな活動を展開した北摂の多くの組合員さんたちとともに喜びたいと思います。



設置は1階部分の屋根と2階の屋根。1階屋根の発電パネルは組合員の集まる会議室から間近に見ることができます。

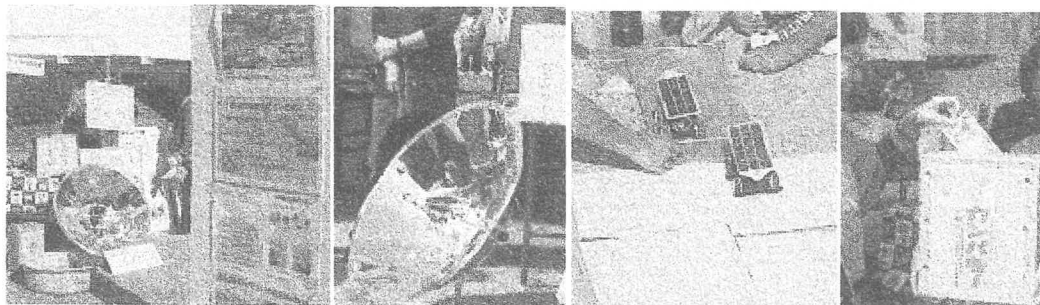
愛称は「さんさんソーラー」

この発電所は10.5kWシステム。年間10,800KWhの電気を作り出し、これによって、削減されるCO₂は1年間に約7,500kgと見込まれています。設置費用は約655万円。啓発活動とともにNEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)の補助を受けています。



生協まつりで資金カンパ活動

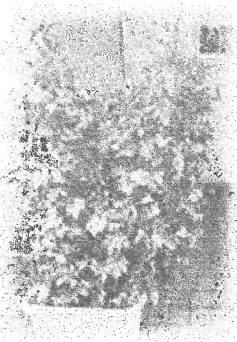
すいた市民環境会議は「千里山生活協同組合」市民共同発電所設置事業に協力し、11月4日、千里南公園で開催された生協まつりで「おひさま広場」を開き、広報、啓発をしました。



花と緑のフェア 10月27日・28日

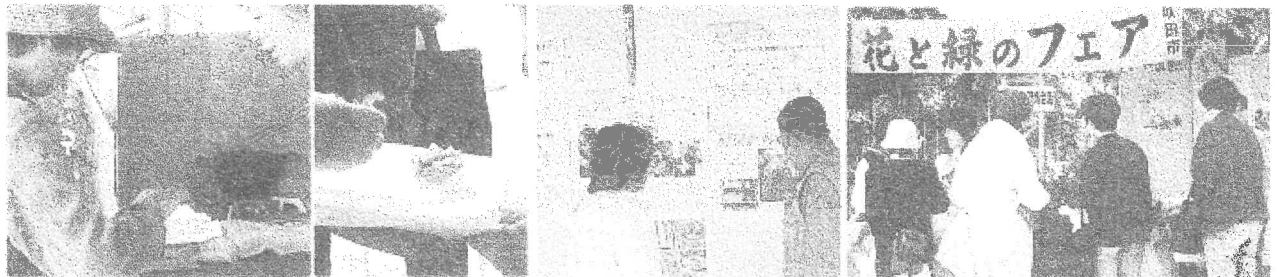
10月27日と28日、江坂公園で恒例の「花と緑のフェア」(主催:吹田市緑化公園室)が開催されました。環境会議はヒートアイランド化防止の取り組みとして「みどりのカーテン」を紹介しました。

1日目はあいにくの雨模様でしたが、2日目には天候に恵まれ、展示した「持ち運び型みどりのカーテン」には人気集中しました。



ポータブルコンロとてんぷら鍋をテーブルに据え、持ち込んだ展示用みどりのカーテンに実ったゴーヤをきざみ、たまねぎと揚げて並べて通りかかりの老若男女に試食を呼びかけた。

“すこしも苦くないね” “てんぷらにして食べる方法もあったのね” “帰って家でもやってみよう” と老若・男女を問わず好評を得られた。ぜひお家の窓際、ベランダにみどりのグリーンカーテンを試して、少しでも涼しさとゴーヤ料理の一石二鳥を楽しんでとアピールする。ゴーヤ=苦瓜にイメージが強く、料理方法の見直しにも役立ち、次期にはみどりのカーテンへの挑戦者が倍増する手ごたえを感じた。(生活環境委員会 田中隆三)



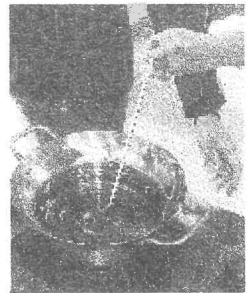
廃油を利用してろうソク作り 12月2日

12月2日、環境会議も参加しているアジェンダ21・エネルギー部会主催でCO₂ダイエット(環境家計簿)情報交換会があり、今回は家庭の廃油を利用して、ろうソクを作りました。



「身近な問題について考えるようになりました」「生活レベルを下げるのは疑問だね」「でももったいない気持ちでの節約はCO₂削減に結びつきますね」「車の利用を減らすと健康にもいいね」

方法は至って簡単。廃油を固化して捨てる際の凝固剤を熱い油に入れます。



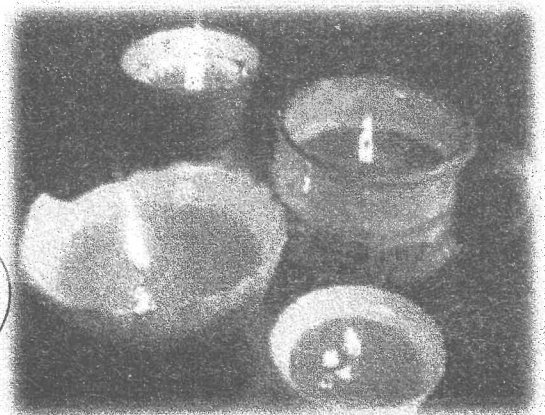
まだ固まらないうちに不用な容器に入れて固まるのを待ちます。おっと、固まる前に、芯になる綿の糸を入れましょうね。芯が寝ないように割り箸で支えておきます。10分もすれば固まり始めます。



エッセンシャルオイルなどで香りも付けてみました。ちょっと、いい雰囲気ですよ。

油が固まるのを待っている間に、7月から取り組んだCO₂ダイエットについて感想などを話し合い、森林伐採についてのビデオを見ました。

委員のひとりごと・・・現存の森林は成長しすぎてCO₂を吸収できない。木は成長するとき、CO₂を固定化する。木のなかったところに木を植えたい。草原を樹林にしたい。吹田の草原ってどこ？原っぱならありそうだけど。



関大で エコクッキング 12月9日

12月9日（日）関大生協の学生企画室主催でエコクッキングを実施しました。

今日のエコクッキングの場所は関西大学・凜風館(りんぷうかん)の食堂です。食堂といっても、シンクが利用できません。利用できる水場は手洗い用の洗面台。火もカセットコンロ。

その中で、学生さんにエコクッキングを体験してもらわなければならないというものでした。でも、やってしまおうのが我々すいた市民環境会議のおばちゃんパワー。

まず安全な食品選びの話。生産者のわかる肉、有機栽培あるいは減農薬野菜など、自然や人間の身体に負担をかけない野菜作りをしているもの、遺伝子組み換え食品等など、食に関する話題は沢山あります。

調理中は廃棄物のことを考え、野菜くずを少なくカット。くずは乾かして焼却の際の負担を少しでも減らします。調味料の容器はリユースできるものを選んで…etc。

煮物はもちろん保温調理。保温調理によって調理にかかるエネルギーを減らすことで、地球温暖化の原因のひとつと言われているCO2の発生を減らします。保温している時間は材料や季節によりますが30～50分。

その間、「グリーンコンシューマー」と、気長で楽しい取り組み姿勢の「キッチンアラカルタ」の紹介をしました。さらに「ライフスタイルチェック」をして、「これから自分自身と大学でどんなことができるか」を考えてもらいました。

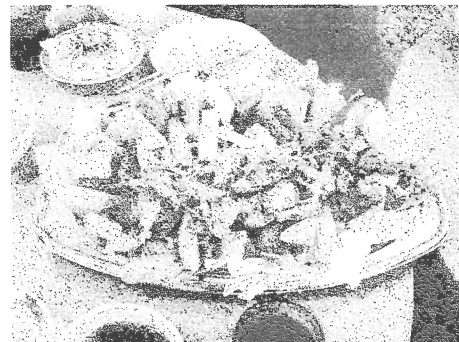
さて、今日のエコクッキングを実施した目的は実は他にあります。関大の生協に加盟している学生さんたちの「環境問題に取り組みたい、そのためになにをしなければならないのかを考えるきっかけにしたい」との要望にこたえて実施したものです。



初めての保温調理
熱が逃げないようにくるむ



これから買い物袋持っていくま
ね。ライフスタイルチェックにチャ
レンジ。



メニューは、①煮鶏の温野菜添え②煮汁利用
の中華風スープ③ダイコンサラダ④ジャコご飯
の4品でした。

学生さんにとっては理論で十分にわかっていることも多かったでしょう。でも実際に、さまざまな人の努力を経て私たちの手元に届いた食べものを食べてみました。私たちが求めれば、消費者としての行動によって、「食と環境」は変えられるのです。

学生さんたちはこれから、どのようなことを考えてアクションを起こすのか、私たちおばちゃんは楽しみにしています。また、お手伝いできることがあれば馳せ参じます。

関西大学の学生さんたち、頑張り！

安威川コースを歩いて

JR 岸辺駅—阪急正雀駅—正雀川—安威川沿い緑道 (南正雀ふれあい公園・南正雀グラウンド)
—安威川堤防—緑道—隆国寺—済生会病院—味舌水路遊歩道—安威川土手—吹田の渡

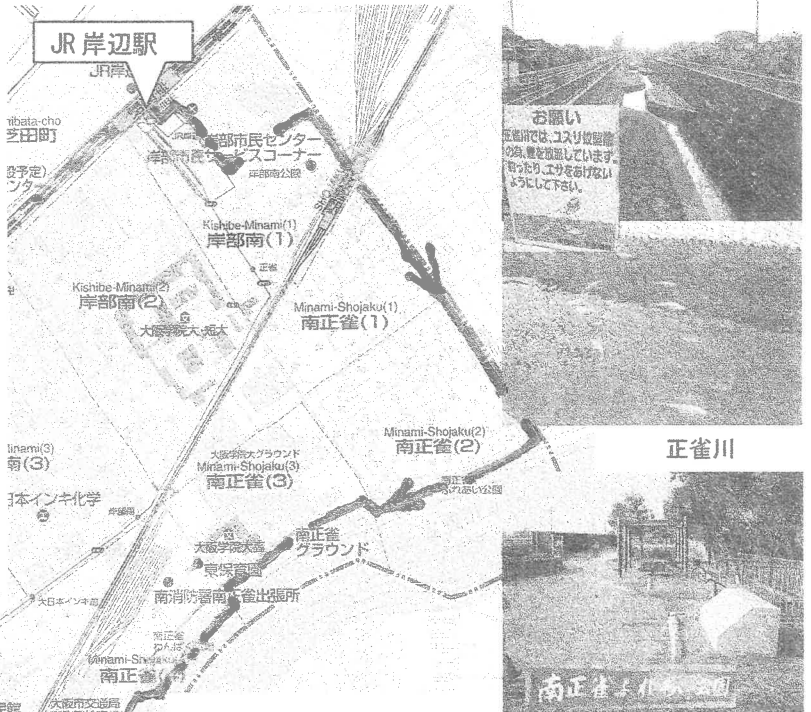
2007年12月8日 (土) まちなみ委員 古谷啓伸

今回の安威川コース散策は、毎日放送、千里の湯が閉鎖され大きく変貌した千里丘コースに代わるコースとして検討を兼ねた散策会であった。皆様も歩いてみませんか。

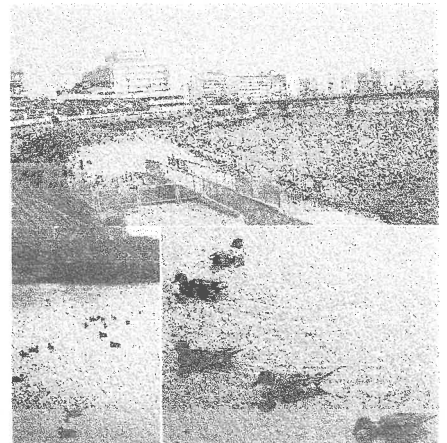
阪急正雀駅から、正雀川右岸を安威川との合流点まで堤を歩いた。正雀川は奈良時代に条理制の線引きを兼ねて開削された。物差し代りだから一直線であり、「正尺川」と表記されていた。平安京造営のため、岸部地区で製造された瓦が、この川を經由して淀川から京都に運ばれました。

現在、川にはユスリカ駆除のために放流されている鯉が見られます。「えさを与えないで下さい」の看板がありました。たくさんのヒゴイ、マゴイが私たちを追っかけてきました。

正雀川の途中で府道・十三高槻線が工事中でした。



安威川に出るとそこから川下に向かって、南正雀ふれあい公園、南正雀スポーツグラウンド、南正雀わんぱく広場が整備されています。ここのテニスコートはオムニコート (砂をまいた人口芝) で高齢者には人気です。この西側の緑道を南下、気持ちよい緑道だ。安威川の堤防に上がる。現在の安威川から神崎川は昔、三国川と呼ばれていました。「三国 (みくに) 川」とは、山城・丹波・摂津の三つの国から水を集めた川のこと。奈良時代末期の延暦4年 (785



年) にこの三国川と淀川を結ぶ運河が開削され、瀬戸内と京都を結ぶ船便が吹田を經由するようになり、吹田の津 (港町) が栄えました。安威川にも冬鳥がきていました。オナガガモ、ヒドリガモが観察できました。

済生会病院から西に向かって味舌 (ました) 水路が遊歩道に整備されています。この地下は暗渠になっています。江戸時代に上流の各地から何本もの排水路が平行して流れていた名残です。

←川園町の隆国寺。本堂前の松は面白い形に育てられています。

「あलック吹田」から「吹田まち案内人」まで ～ 私のマップ作りとまち案内 ～

まちなみ委員 岡村昇二

私は、「すいた市民環境会議」の発足の前から「西尾邸保存活用会」に入り、ここでボランティアガイドを始めたのが、吹田の古民家、まちなみに関するボランティア活動に深く係わるきっかけでした。

すいた市民環境会議のまちなみ委員 10 人ほどが、平成 12 (2000) 年の初めから約 1 年を掛けて、吹田観光マップ「あलック吹田」を作成しました。そのとき私もメンバーに加えてもらいました。このマップ作りは、改めて吹田のまちを深く知る機会にもなり、編集などその他の作業も良い経験でした。

「あलック吹田」の初版は平成 13 年 3 月に発行され、それ以来、私たちはコース紹介のために、この会報や「市報すいた」などで参加者を募り、散策会を重ねてきました。自主企画と外部からの依頼を含め、この 7 年間に 40 回以上の散策会の案内を務め、一回当たり 10～20 名としても随分多くの皆さんに吹田を知ってもらえたと思います。また自分たちにも良い勉強になりました。

これらまち歩きを経験を基に、平成 13 年の道路愛称づくり(事務局・吹田市道路建設課)にも参加し、対象道路の選択や、道の特色について意見を言うことができました。

平成 15 年、文化のまちづくり室作成の「界わい散策案内」全 6 枚(絶版)にもお手伝いをしました。

平成 16 年から吹田市緑化公園室が事務局となり市民有志が作成した、花と緑・水めぐる遊歩道「ぶらっと吹田」については、市民による「友の会運営委員」30 名ほどの中に加わり、コースを設定、マップ作りをし、開催する散策会は毎回 100 人前後の参加者を集める大イベントに発展しています。

昨年 1 月から「吹田歴史文化まちづくり協会」の事業として本格的に稼働している「吹田まち案内人」と称するボランティアガイド組織は私が長年温めてきた考えを、大勢の協力者を得て実現したものです。現在は、15 人ほどのメンバーで、市内の公民館や市内外の地域や歴史探訪等の団体からの依頼により、吹田市内の各地をガイドして回っています。

昨年 9 月には吹田市市民文化部の働き掛けで、旅行社主催の「吹田再発見バスツアー」が初めて



「バスガイドを勤める筆者」と「日本庭園で庭園模型を説明する筆者」

開催され、これにガイド役として私ともう一人のまち案内人が参加しました。これは募集の初日に売り切れるほど人気がありました。

「吹田まち案内人」では、ガイド依頼を待つだけでなく、9 月から自主企画のプランで参加者を募集することも始めました。具体的には、マロニー工場見学、吹田ケーブルテレビ見学など企業見学とまち歩きをセットにしたプランが好評です。

私たちが市内を案内して参加者から「長年、吹田に住んでるけど、こんな所を知らなかった」との言葉をよく聞きます。

私は自分の経験から、吹田を知れば知るほど好きになり、このまちに住む幸せを感じます。一方、まちの欠点を発見すれば改善策を考え提言することができます。市民の皆さんにもまちを歩いて、よく吹田を知ってもらいたいと思います。その場合、「まち案内人」を活用することも忘れないでください。見落としていたものや、何気なく見ていたものも、案内があればよく見えてきます。吹田も良いまちだと感じるようになります。

「吹田まち案内人」ガイドの申込先
吹田歴史文化まちづくり協会
電話 06-4860-9731

まち歩き参考資料
吹田市観光マップ「あलック吹田」
すいた市民環境会議企画編集
吹田市産業労働室発行
「ぶらっと吹田」花と緑・水めぐる遊歩道
吹田市緑化公園室発行(追加発行準備中)
吹田市ホームページより閲覧可能

すいた歴史散歩
吹田市郷土史研究会著作
吹田市教育委員会編集発行(絶版)

吹田市立博物館 万博展とその後

「'07EXPO' 70～わたしと万博」市民委員 松岡要三（まちなみ委員）

◇12月2日（日）大成功で閉幕

入館者1万5千人、ブログ訪問者13万人
吹田市民の高い「知的生産の技術」を示す！

12月2日（日）市民フォーラム「わたしと万博～万博の想いを大いに語ろう～」で閉幕しました。展示、お祭広場の再現、賑々しい祭典の中に、EXPO' 70の企画・準備にかかわられた作家の小松左京氏や建築家などの特筆できる素晴らしい講演会やフォーラムもありました。

企画した市民委員以外、イベントに出演された方、ご講演いただいた方、物産展など協力いただいた方々の多さも注目すべき万博展で、多様なイベントに彩られた44日間でした。



↑最終日 展示場ロビーで開催されたヘルマンハーブ演奏会（期間中世界各地の音楽が演奏されました）

←最終日の市民フォーラムの様子

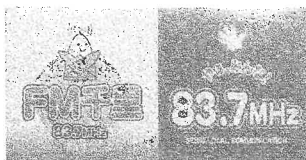
☆2010年の上海万博へ向けて

1970年代の日本を上回る勢いで発展する中国、今年の北京オリンピックに続き2010年は上海万博。「より良い都市、より良い生活」がテーマ。最終日の前日、中華人民共和国在大阪総領事・羅田廣（ら でんこう）氏と吹田市長・阪口善雄氏との対談がありました。「人類の進歩と調和」は人類の永遠のテーマとして引き継いでいかなければならない、また上海は万博の跡地利用についても注目していますと羅田廣総領事。阪口市長も上海との交流を通じて「人類の進歩と調和」を世界に発信し友好交流が図れるようにしたいと。最後に市長「2010年には吹田から使節団を送ろう」と。



阪口市長と羅田廣総領事

☆や～みんな（83.7MHz）FM千里 聞いていますか



万博展が縁で当会所属の万博展市民委員、松岡・平・岡村・彦坂などがFM千里に出演、万博展のPRだけでなく、大木調査や浜屋敷のまち案内人などもPR。千里や吹田の情報満載、ダイヤルを83.7MHzに！



上新田のFM千里で彦坂氏

☆吹田市立博物館は今、今後は

- ・市民委員会のブログ <http://www.doblog.com/weblog/myblog/60028#>が健在、初夢が好評です。
- ・博物館に付設するビジターセンターの構想があります。当会は吹田自然観察会と共同で、この構想に関係して、センターの計画と博物館に自然系学芸員の配置を要望し、市長より回答を戴きました。詳細はホームページ参照ください。 <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sikinparkybs07.htm>

大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」

顔見せ交流会「風・水・緑のまちづくり～大阪の地域力～」

2007年11月24日(土) 吹田市民会館

平成19年度かけはし顔見せ交流会が、地元の吹田市はじめ高槻市、環境NPOや企業など多くの方が参加して開催されました。当会から生きもの委員会の平軍二氏が「すいたの大木調査」を事例報告しました。



立命館大学教授 高田昇氏

立命館大学政策科学部教授で建築家・高田昇氏の基調講演「協働で創る環境共生～風・水・緑～のまちづくり」があり、それに引き続き5つの事例発表と発表者による討論会がありました。

平軍二のほか吹田市からは緑化公園室・衣笠照重氏の「吹田発 市民と協働の公園づくり」と題して「北千里苗圃での花壇作り」と万博のボランティアによる「循環型モデルパーク in 万博公園」の事例発表があり、高槻市環境政策室、積水ハウス(株)からの事例発表がありました。



当会の 平 軍二氏

積水ハウスの「CSR 活動～大阪都心部に展開する新・里山事業の試み」は素晴らしい事例報告でした。大阪梅田の一等地、梅田スカイビルの足元で始められた「新里山」創り～8000㎡に200種以上の樹木を植え、雑木林、棚田、野菜畑を作り、生態系に配慮して管理し、ビルに働くボランティアやその家族などと自然体験している事例と、お客様と共に進める「5本の樹」計画～3本は鳥のため、2本は蝶のために～地域に根ざした自生種・在来種を植栽する活動事例の報告でした。桜を植えるなら「ソメイヨシノでなく、山桜、しだれ桜を!」、目からウロコの事例報告でした。

(まちなみ委員 松岡要三)



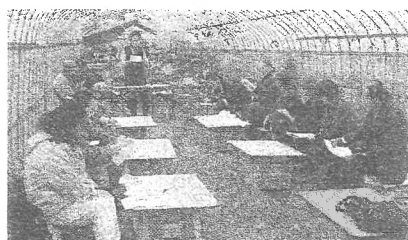
緑化公園室 衣笠照重氏



吹田市民会館に集まった熱心な参加者

吹田くわいネットワーク 第7回学習会とスイタクワイ掘り

2007年12月16日(日)平野紘一氏の栽培地(江坂3丁目)にあるビニールハウスで第7回学習会がありました。平野さんから①土はどうしている②育て方③クワイの病気と対策④その他もろもろのお話を伺いました。吹田くわい保存会会長北村さん、吹田市農業委員会会長榎谷さんからもお話しをお聞きました。



北村さん 平野さん 榎谷さん



引き続いて吹田くわい掘りの実践、①クワイの掘り方②保存方法など体験学習しました。

産業労働室、関大から「スイタクワイを掘りたい」とのボランティアの応援団と取材の吹田ケーブルテレビで田んぼは大にぎわいでした。

(事務局 中村小夜子)

2008年イオン(ジャスコ南千里店)・すいた市民環境会議共催
環境学習バスツアーのご案内
橿原市昆虫館・橿原神宮・飛鳥歴史公園石舞台

毎年この季節にジャスコ南千里店と共催しています。今年は蝶が翅を休めている姿をイメージしてデザインされた橿原市昆虫館や橿原神宮・橿原森林遊苑、飛鳥歴史公園夢舞台にご案内します。

- ・日 時：2008年4月5日(土) 8:30~17:00 (雨天決行)
- ・集 合：阪急南千里駅前 ホテルマーレ裏(千里南公園側) 午前8時30分
- ・行き先：午前 橿原市昆虫館(放蝶温室で亜熱帯地方の植物や乱舞する蝶を観察します)
(昼食) 昆虫館前桜の広場
午後 橿原神宮見学と橿原森林遊苑観察、飛鳥歴史公園夢舞台見学
- ・参加費：中学生以上 2000円、小学生以下 800円、幼児は無料(弁当・席なし)
(交通費、昼食代、お茶代、保険代、講師代すべてを含む)
- ・募集人数：ジャスコ側 25名、すいた市民環境会議側 25名 合計50名
- ・申込み先：すいた市民環境会議側 佐藤和子 TEL/FAX 06-6387-2096
(受付：3月1日(土)~3月15日(土) 定員になり次第締め切り)

第33回「あलック吹田」散策会 南千里コース

- ・日 時：2008年3月15日(土) 小雨決行
- ・集 合：阪急南千里駅改札前 9:30 解散：同駅 正午頃
- ・コース：千里南公園から津雲公園、あやめ橋緑地を經由して高町池・千里緑地を周遊
- ・参加費：会員200円 非会員300円
- ・申込先：大越(Tel 090-7768-5423) 定員25名

大阪府民環境会議 市民セミナー「市民環境会議 集合！」

府下で活動する環境分野の市民環境会議が集い、各々の活動の目的・内容について知り合い、市民が環境保全活動をする上での課題や可能性について考えます。

- ・日 時：2008年3月8日(土) 18:30~21:00
- ・場 所：大阪市立総合生涯ルーム6階第2研修室(大阪駅前第2ビル)
- ・参加予定団体：すいた市民環境会議、市民環境ネット・せつつ、ひらかた環境ネットワーク、とよなか市民環境会議アジェンダ21、東大阪市民環境会議、きしわだ市民環境会議、高槻環境市民会議
- ・参加申込み：大阪府民環境会議(OPEN) 事務局 TEL/FAX 06-7172-7016

<まちなみ委員会・事務局・会報委員会より>

- ・「あलック吹田」を2001年に制作して7年が経ちました。その間、無くなったもの、新たに建てられたもの、まちの風景もかなり変わりました。増刷毎に少し変更しています。2008年度には、一年かけてコース入れ替えも含め変更を市と話合っています。皆様のご意見もお待ちしています。
まちなみ委員会 松岡要三 FAX 06-6384-8168
- ・毎月イベントや委員会の活動が頻繁におこなわれています。各員会ではイベントのお手伝いしていただける方、委員会活動に参加していただける方を募っています。
ご協力いただける方はお電話を！ 事務局 中村小夜子 TEL 090-8375-0647
- ・「吹田の郷」お待たせしました。連絡が遅れましたが2008年より偶数月発行になります。